

コード No. 10903

**Anti-
HIV-1 p24 (2C2) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

はじめに : HIV は AIDS の原因ウイルスであるレトロウイルスです。HIV-1 p24 は HIV-1 のコアを構成するキャプシドタンパク質で、HIV-1 感染の初期から検出が可能なタンパク質です。血液中のウイルス量を把握するため、治療後の病態の変化を観察するマーカーに用いられます。

免疫抗原 : リコンビナント HIV-1 gag p24 タンパク

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(SP2/0 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 2C2

サブクラス : IgG₁

精製方法 : 硫酸アンモニウム沈殿後のゲルろ過精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 0.2 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.2 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び
安定性 : 2～8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び
使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 10 µg/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 10 µg/test にて使用可能
: フローサイトメトリー 1 µg (1×10⁵ Cells あたり) にて使用可能
: ELISA (Detector 抗体として) 100 ng/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Tanaka R, Takahashi Y, Kodama A, Saito M, Ansari AA, Tanaka Y.
Suppression of CCR5-tropic HIV type 1 infection by OX40 stimulation via enhanced production of β-chemokines. AIDS Res Hum Retroviruses. 2010 Oct;26(10):1147-54.

コード No. 10903

**Anti-
HIV-1 p24 (2C2) Mouse IgG MoAb**

容量 : 500 µg

はじめに : HIV は AIDS の原因ウイルスであるレトロウイルスです。HIV-1 p24 は HIV-1 のコアを構成するキャプシドタンパク質で、HIV-1 感染の初期から検出が可能なタンパク質です。血液中のウイルス量を把握するため、治療後の病態の変化を観察するマーカーに用いられます。

免疫抗原 : リコンビナント HIV-1 gag p24 タンパク

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(SP2/0 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 2C2

サブクラス : IgG₁

精製方法 : 硫酸アンモニウム沈殿後のゲルろ過精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 500 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : ウェスタン・ブロッティング 10 µg/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 10 µg/test にて使用可能
: フローサイトメトリー 1 µg (1×10⁵ Cells あたり)にて使用可能
: ELISA (Detector 抗体として) 100 ng/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Tanaka R, Takahashi Y, Kodama A, Saito M, Ansari AA, Tanaka Y.
Suppression of CCR5-tropic HIV type 1 infection by OX40 stimulation via enhanced production of β-chemokines. AIDS Res Hum Retroviruses. 2010 Oct;26(10):1147-54.